

神奈川県教育長賞

「おこめはたからもの」

海老名市立杉本小学校

1年 藤田 碧月

ぼくは、おこめをたべるとげんきになります。おいしくてえいようがあるのでげんきになれます。おなかがいっぱいになると、うれしいきもちになります。

おこめは、ごはん、おにぎり、おもち、おだんご、おせんべいにもなります。ぼくは、おこめでできているたべものが好きです。おなかですいたとき、つかれたとき、もえてがんばるとき、つよくなりたいとき、かならずおこめをたべます。おこめをたべたら、もえてげんきになります。おかあさんがつくったたきこみごはん、つなまよおにぎり、おいなりさんがだいすきです。おかあさんがつくったごはんをまいにちたべて、べんきようやうんどう、あそびをいっしょうけんめいがんばれています。なので、おこめは「ぼくのたからもの」です。

おこめをたべるときは、ひとつぶものこしません。かみさまにおこめをとおもうからたいせつにたべています。たくさんのひとがいちねんかけてたいせつにそだててくれた、たからものがおこめです。まいにちたべるときは、ありがとうのきもちをわすれずにたべています。ぼくはかならず「いただきます」「ごちそうさまでした」をいいます。たくさんのひとがつくってくれたおこめ、りょうりをつくってくれたひとにありがとうをつたえたいからです。

「ぼくのたからもの」のおこめを、これからもまいにちたべてげんきいっぱいにおおきくなりたいです。そして、たくさんのひとにありがとうをわすれません。